

## 市民座談会の結果

平成30年12月

南 城 市

## 1 市民座談会の実施状況

- 座談会は、再編に対する意向や、要望等を把握するため、佐敷、玉城、知念、大里、つきしろの5地区毎に座談会を開催しました。
- 参加者数は5地区で38名になります。

表 1.座談会の開催状況

地区名	開催日時	開催場所	参加者数
佐敷	8月26日(日) 14:30~16:00	市役所3階311会議室	6名
玉城	8月29日(水) 19:00~20:30	//	9名
知念	8月26日(日) 17:00~18:30	//	8名
大里	8月30日(木) 18:00~17:30	//	9名
つきしろ	8月28日(火) 18:00~19:30	つきしろ公民館	6名



図-1.座談会の開催状況

# 「南城市の公共交通についての座談会」のご案内

南城市では、平成 28 年度に策定した「南城市地域公共交通網形成計画」（公共交通のマスタープラン）に示した公共交通網再編イメージの実現に向け、本年度、具体的なバス路線案の検討を行っています。検討にあたり公共交通の利用者や関心のある方のご意見をうかがうため、座談会を開催することにいたしました。座談会は、佐敷、知念、玉城、大里、つきしろの地区ごとに開催いたします。多くの方のみなさまの参加をお待ち申し上げます。

## == 座談会の概要 ==

日 時：8 月中旬～下旬で調整中

時 間：1 時間 30 分を予定

開催場所：南城市役所新庁舎

主な内容：説明・紹介

南城市の公共交通の現状

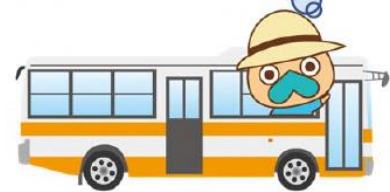
公共交通の再編素案

### 座談会

テーマ①公共交通の再編素案について

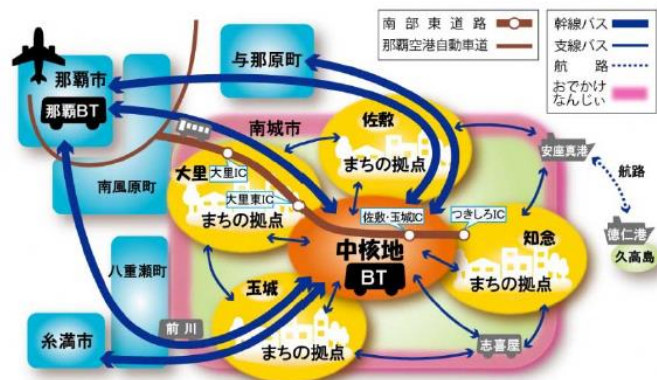
テーマ②公共交通のサービス向上について

市外への幹線バスや、  
市内の支線バスについて  
ユンタクするなん。



## 南城市地域公共交通網形成計画における公共交通再編イメージ

- IC 周辺の新しい拠点である中核地を核に、公共交通網を形成。
- 中核地と那覇市等の市外を幹線バスで結ぶ。
- 市内でも一定の需要が見込める中核地～まちの拠点間等は支線バスを運行。
- 支線バスでの対応が難しいエリアの移動は「おでかけなんじい」が担う。



お問い合わせ：南城市 企画部 企画室

TEL：(098) 917-5395

図-2.座談会の案内チラシ

## 2 実施結果

市民座談会は、右図のフローにしたがって進めました。

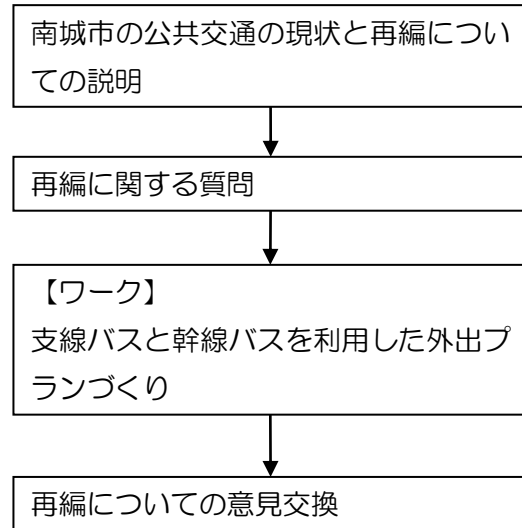


図-3.市民座談会の流れ

### 2.1 再編に関する質問

- 中核地はどのあたりになるのか？  
→市役所、ユインチホテル周辺になる。
- 再編した市町村は、他にもあるのか？  
→県内ではまだない。
- 支線バスは何人乗りを予定しているのか？  
→29人乗りを想定している。
- 支線バスにOKICAは導入するのか？  
→今のところ、導入は考えていない。
- 今後、空港に直行できるバスは運行されるのか？  
→検討している。
- 南部東道路の終点はどこになるのか？  
→当面は、つきしろが終点になる。
- つきしろまでのバスは、今後増えるのか。  
→支線が運行されることで増える見込み。 等

## 2.2 ワーク

自宅近くから南城市役所までの移動、市役所を經由して市外に外出する際のプランづくりを、仮の路線図と時刻表をみながら、検討してもらいました。



図-4.プランづくりの実施状況

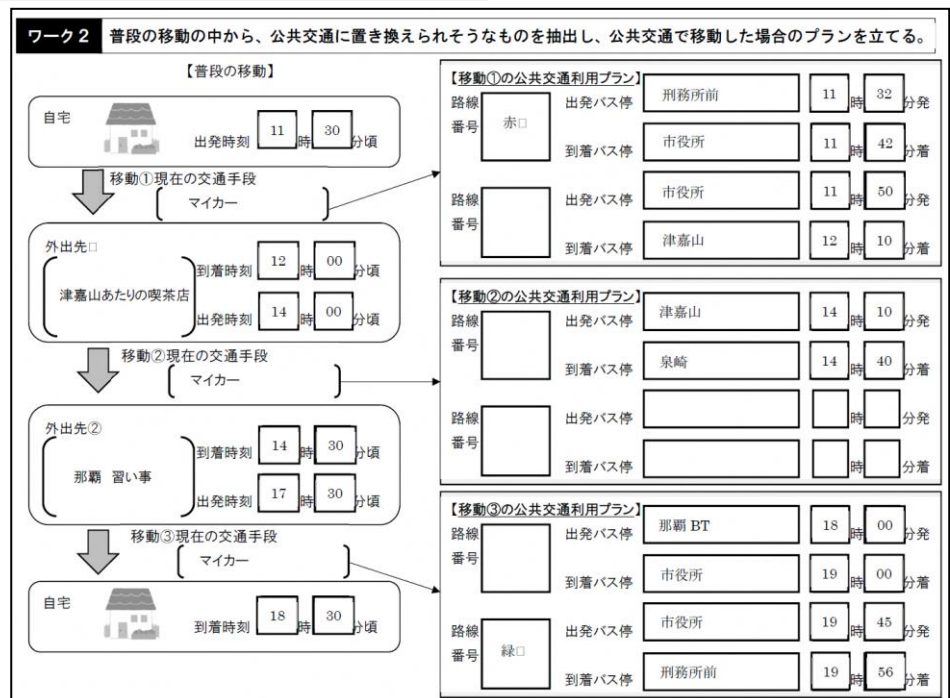
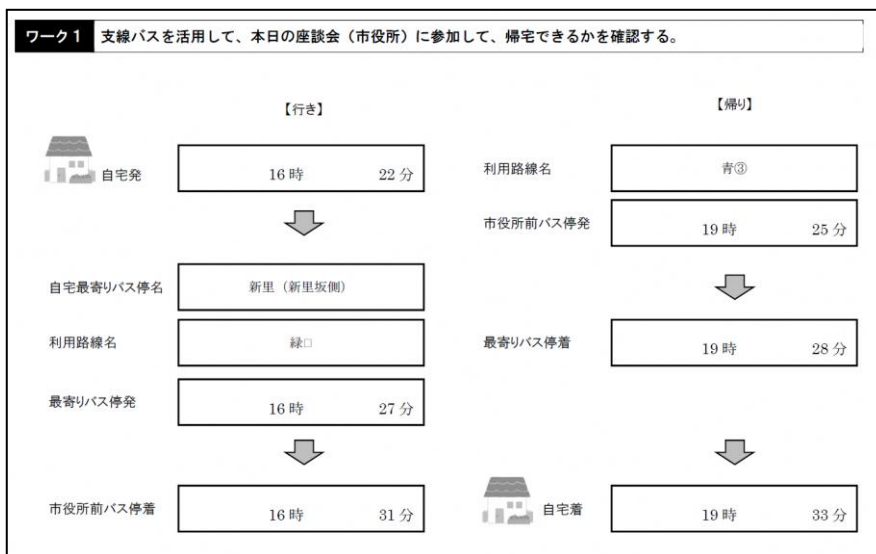


図-5.ワークシートの作成例(上:自宅から市役所までをバスで移動、下:普段の移動をバスに置き換え)

## 2.3 現状に関する意見

---

- 自宅からバス停までの距離が長い。
- 知念小学校に行く始発バスの時間が遅い。
- 大里北地区、大里西地区は利用できるバスが少ない。
- 那覇への路線バスが少ない。
- おでかけなんじいの電話してから実際に乗るまでに2~3時間待つこともある。 等

## 2.4 再編に関する意見

---

- 幹線バスの直行便がなくなることで、デメリットがある地域がでてくる。
- 再編で子どもの送迎の負担が減るのでよい。
- 観光客が増えているので、市内を一周する路線があった方がよい。
- 観光客からあざまサンサンビーチとおきなわワールドを結ぶ路線があったらいいという意見があった。
- 学生の通学・帰宅時間のバスを充実してほしい。
- 向陽高校へのバスを増やしてほしい。
- 自宅に時刻表を配布してほしい。
- 運転免許証返納の方の特典、サービスを充実してほしい。 等